

チームの応援を通じた生活満足度 幸福感の概要とモデル推定結果

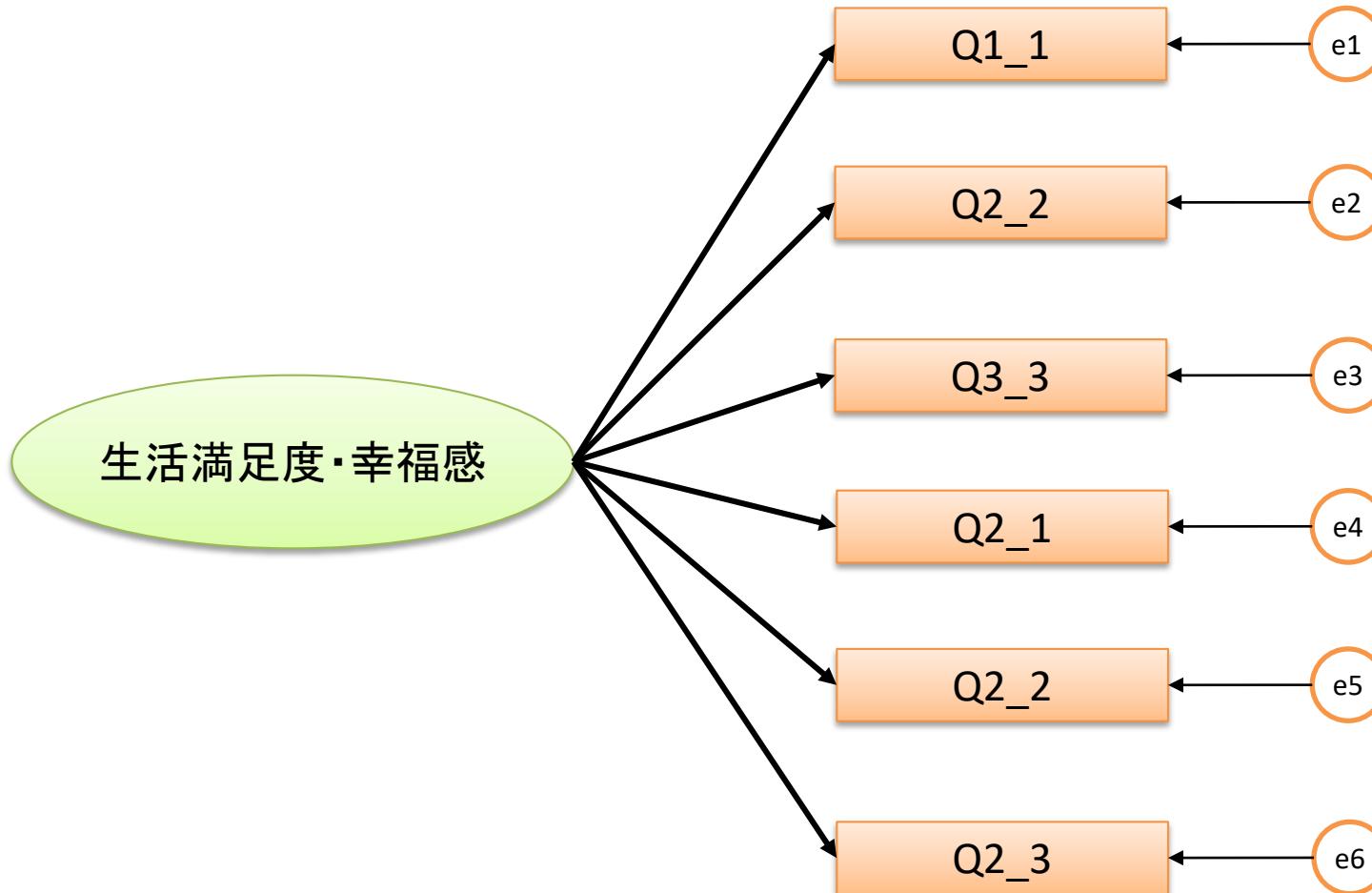
慶應義塾大学 理工学部管理工学科
鈴木秀男

生活満足度および幸福感

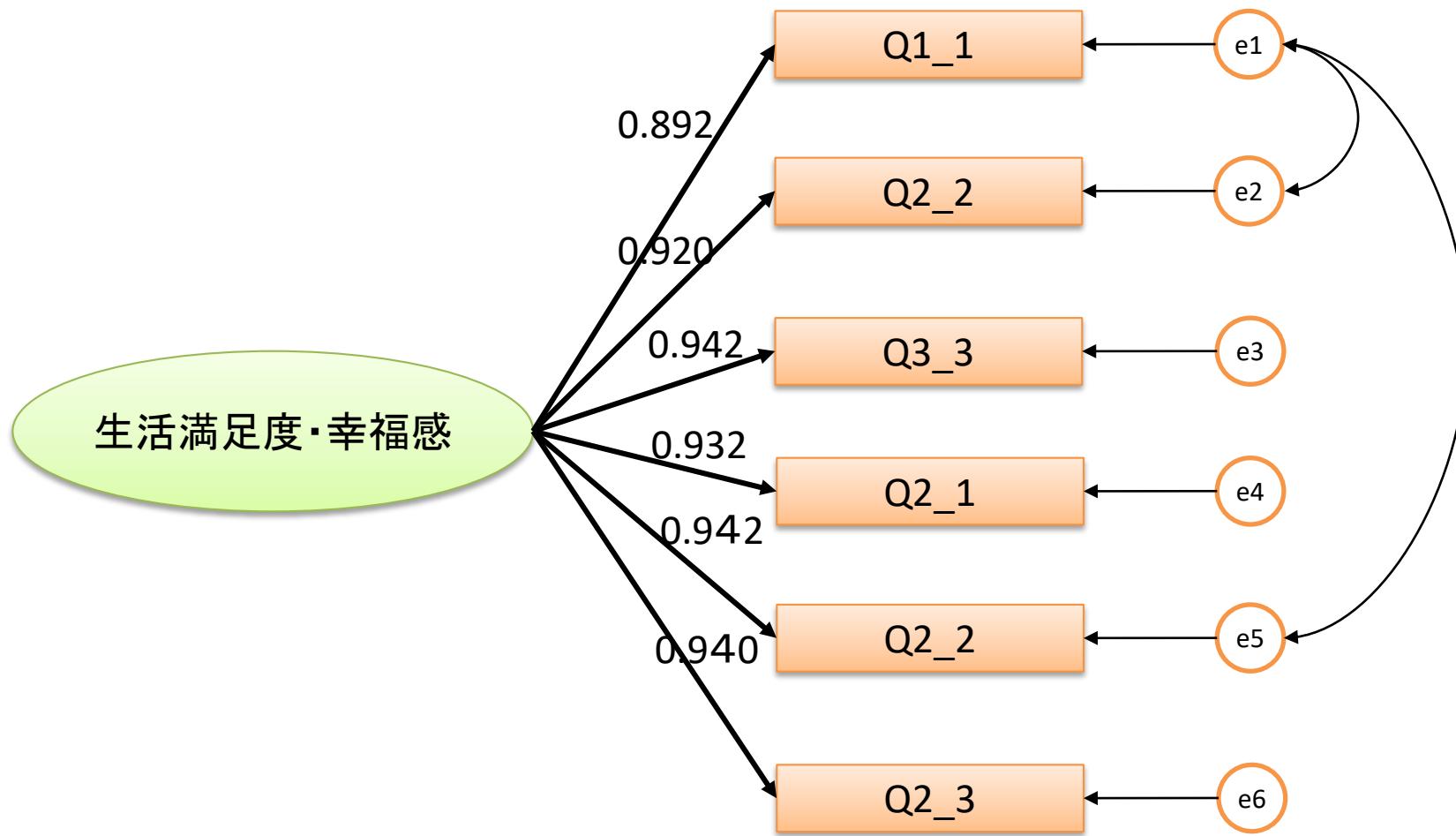
□ チームの応援を通じて、生活満足度および幸福感の度合いがどのくらいかを調査

生活満足度	Q1_1: 現在、そのチームを応援することで、自分の生活に満足している。
	Q1_2: そのチームを応援することで、自分の生活は他人と比べて充実しているほうであると感じる。
	Q1_3: そのチームを応援することで、自分の生活は今よりも充実していく。
幸福感	Q2_1: 現在、そのチームを応援することで、自分は幸福であると感じる。
	Q2_2: そのチームを応援することで、自分は他人と比べて幸せなほうであると感じる。
	Q2_3: そのチームを応援することで、自分は今よりも幸せになっていく。

オリジナル仮説モデル



2019年1月下旬調査： オリジナル仮説モデル



GFI=0.986, AGFI=0.958, CFI=0.996

RMR=0.019 RMSEA=0.073